

心と心・通信

Vol.

5

～あなたとクリニックを結ぶ～

ドゥイフス

DWIBS がん検診 始まる ～放射線被ばくのない全身がん検診へ～

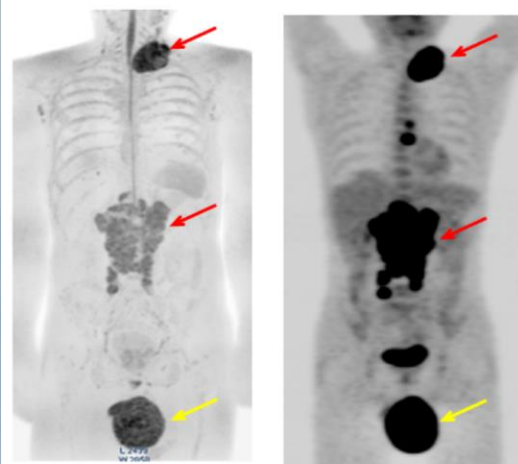
**PET総合がん検診に、新たにMRIを用いた
“DWIBSがん検診”のご案内が加わります**

DWIBSはMRIで全身を撮像する手法の一つであり、
がんを検出する従来のPET/CT画像と似た画像となる
特性があります。

PET/CTは、がん細胞のブドウ糖代謝が盛んな性質を
利用し画像化するのに対し、DWIBSでは、がん病変の
細胞密度が高い性質を利用し病変を検出します。

DWIBSでは、やや時間がかかるものの、薬剤の
注射や放射線被ばくがないというメリットがあり、
がん検診の分野でも注目されています。

全身拡散強調像(DWIBS)
とPETの対比



DWIBS

PET

精巣癌 (→) 多発リンパ節転移 (→)

-PET/CTとDWIBS どちらがおすすめ？-

どちらの検査も得手・不得手があります。

PET/CTでは尿路系腫瘍（腎がん、尿管がん、
前立腺がん、膀胱がんなど）の検出が苦手です。

DWIBSは比較的尿路系腫瘍の検出が得意です。

但し、DWIBSは日本人の罹患率の高い肺がん
(特に早期肺がん)の検出が難しいため、胸部
CTをあわせて実施いただくよう推奨しております。

がん	DWIBS	PET/CT
肺	△	◎
胃・大腸・膵臓	○	○
腎臓・膀胱・前立腺	◎	△

PET/CT検査の代わりにDWIBS検査も選択が可能に

初めてがん検診を受診される方には、これまでに実績のあるPET/CTをお薦めしています。
初回の検診で異常がなかった方は、その後、DWIBSがん検診、PETがん検診を交互に
受診いただくことで、生涯の総放射線被ばく線量を減らし、2種類の検査によって不得手な
部分を補い合い診断能が向上するといったメリットが期待できます。

ご提案プランの一例

初回PETがん検診 (結果：異常なしの方)

→ 1年後DWIBSがん検診 → 2年後PETがん検診

+α

オプションを上手に選んで“安心感アップ”

年一回の大切な検診。折角の機会です。普段受けているコースに、“気になっていた検査”を上手にプラス。充実した検診にアップグレードしましょう。

一般ドック(内視鏡)コースに +α

(モデル1) 「脳動脈瘤がないか気になる」 +【**脳セット**】 プラス ¥31,000(税別)

脳MRI/MRA・頸動脈超音波

(モデル2) 「女性がん検診もしっかりと」 +【**レディースセット**】 プラス ¥35,400(税別)

乳腺超音波・マンモグラフィー・骨盤MRI

PETスタンダードコースに +α

(モデル3) 「脈が気になる、胸が時々痛む」【**心機能プラス**】 総額 ¥196,000(税別)

心臓超音波・心電図・脈波伝播速度(血管年齢測定)・心筋マーカー

PETスタンダード脳プラス +α

(モデル4) 「他施設で受けていた胃カメラも同じ日に一緒にできる？」

+【**胃カメラ(オプション)**】 プラス ¥28,000(税別)

上記の他にもオプション検査は多数ございます。遠慮なくご相談ください。裏メニューも…?!

さいたまセントラルクリニックは 開院10周年を迎えました

～オープニング・スタッフより～

地域連携室 長田邦男

入職時面接の折、当時海外に飛躍していった「イチローのようなオールラウンドプレイヤーを目指したい」と営業から事務全般何でもやらせていただく覚悟を例えて言わせてもらいました。開院当初は運転手、ビラ配り、イベントの際の連絡係、ホームページやチラシ作成、各病院の院長への面会設定、クリニックへの挨拶回りなど、文字通りなんでも屋で目まぐるしい日々を過ごしました。そうした中、お互いに気遣う現場の雰囲気生まれ、かけがえのない人間関係が築けたと思います。今から思えば、苦しい時、敢えてみんなで山や川に遊びに行ったことも現場との連携意識が生まれるよいきっかけとなったかと振り返る次第です。

臨床検査技師 野澤悦子

開院当初、MRI検査やPET/CT検査まで行う検診コースの中で臨床検査技師に与えられた役割がわからず、戸惑いました。そのような始まりであったにも拘わらず勤め続けることができたのは、一緒に働く仲間の支えと、多くの受診者様からいただいた温かい言葉のおかげだと思います。

10年を迎えた今、まわりには新しい仲間がいます。その仲間は今まで受診者様からいただいた数々の言葉を伝え、支えてくれた方たちに頑張っているなと思っていただけるよう、努めていきたいと思っています。

放射線技術部門 島内広志

診療放射線技師として、PET/CT、MRI検査など様々な検査を担当し、受診者の皆様の健康管理の手助けをさせていただきました。この10年の間に医療機器もどんどん進化し、2017年にはPET/CT、2018年にはMRI、マンモグラフィ装置を最新機器に更新することができました。診療放射線技師としても、学ぶことの多かった10年だった気がします。

受診していただく皆様に「この技師さんなら安心して任せられるわ」と思っていただけのように、これからも日々努力を重ねてまいりたいと思います。

受付・医事部門 西岡こずえ

受診者様の中には私の顔を覚えていくくださる方もおられ、声をかけていただくと嬉しくなります。また、会計時にいただく「ありがとう」「お世話になりました」などのお言葉が、

小さなことですが頑張る力になっております。この10年で検診での早期発見の大事さも実感できました。これからもクリニックに来てくださる方々に気持ちよく受診していただけるよう努めていきたいと思っています。



これからも皆様に『未来を変える医療』を提供してまいります